

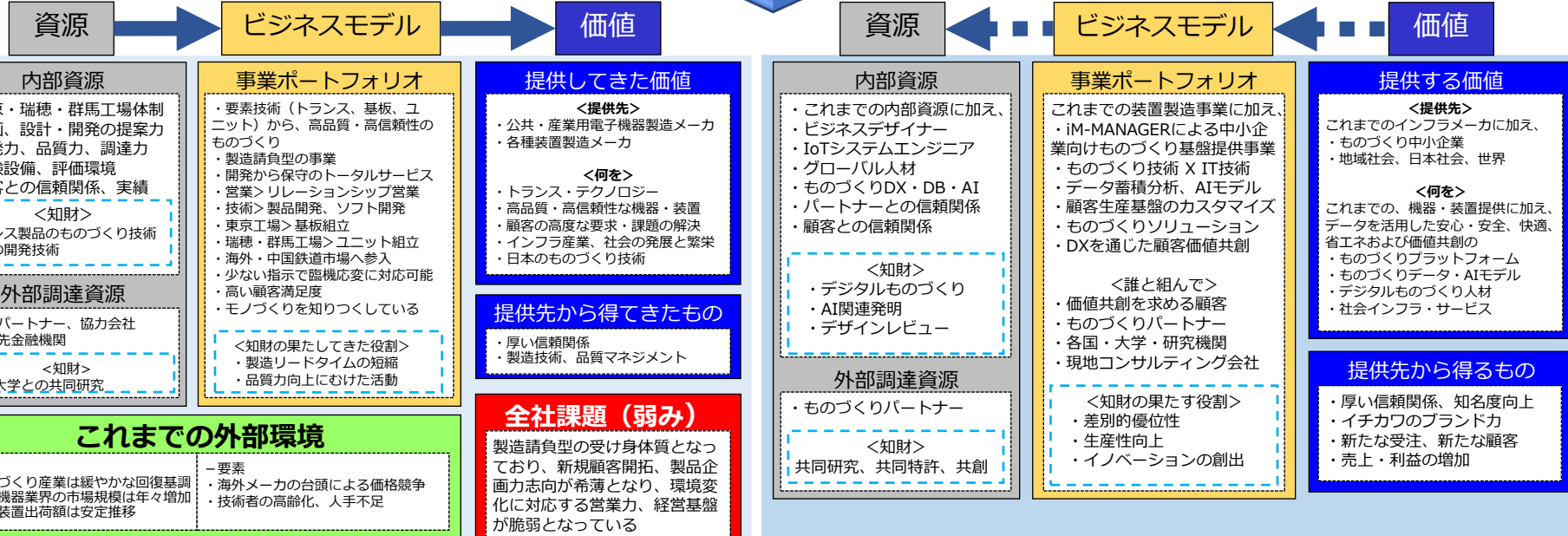
経営デザインシート(株式会社イチカワ)

自社の目的・特徴

- ・「信頼に応える、トランステクノロジー」をキャッチフレーズ
- ・「テクノロジーでつなぐ、産業、人、未来」を合言葉に、社会インフラの発展に貢献する
- ・電子機器、電子ユニット、鉄道車両装置、制御盤製造のものづくり技術で顧客課題を解決する
- ・設計から保守に至るまで、価値のあるビジネスを提案する

経営方針

- ・自社技術の発展により、自社ブランドを確立させ、顧客や社会からも選ばれる企業として、世界の市場に参入していく
- ・デジタル技術の活用により、自社のものづくり基盤をスマートファクトリーに進化させる
- ・ビジネスを通じて、若手人材を社会で通用する人材に育成する
- ・創業100周年(2063年)に向け、地域に根をおろしつつ、人々の生活をより豊かにしていく



「これから」の姿への移行のための戦略

これからの外部環境

- +要素**
- ・社会・産業のデジタル化
 - ・再生可能エネルギー拡大
 - ・新興国市場の拡大
- 要素**
- ・経済・社会情勢の悪化
 - ・労働力不足、人材流出
 - ・他産業からの新規参入

移行のための課題

- ・製造請負の依存から脱却して価値提案企業となる
- ・生産プロセス改革による品質・生産性の向上
- ・デジタル技術とデータによる社内ノウハウの共有
- ・意識改革で過去の実績・文化を捨てる覚悟をもつ

必要な資源

- ・デジタル生産設備
- ・IoTデバイス
- ・ものづくり量産設備
- ・ものづくりデータ
- ・データサイエンティスト

- 知財**
- ・デジタルものづくり
 - ・デザインレビュー

解決策

- <次世代スマート生産ラインの構築>**
- ・ユニット製造ラインをメインラインとして再構築(倍增計画)
 - ・他社がマネできない付加価値を実現できるデジタルものづくり体制
 - ・スマート台車、iM-MANAGERを中核とするプラットフォームづくり
 - ・自動化>制御化>見える化のステップでスマート生産ラインを構築
 - ・稼動状況や実績データの可視化により適切な現場判断と経営の意思決定
- <産学官ネットワークづくりの推進>**
- ・●●大学等の研究機関との共同研究、共同開発
 - ・中小企業ネットワーク(多様なパートナーとの良好な関係づくり)
- <人材育成>**
- ・ものづくりとビジネスのデジタル化を推進できる人材を育成する
 - ・ベテラン技能者から若手人材への技術承継

これまで

これから